



めざす生徒像は、「自立し、共同体感覚を持った生徒」です。

中学生期は、人生に関わる様々な事柄についての関心が高くなります。人生の意味をどこに求め、いかによりよく生きるかといった「生き方」を主体的に探り始める時期です。人生は、誰かに任せることができません。誰かの人生ではなく、一人一人が自分自身の人生を引き受けなければなりません。生徒のみなさんは、自分以外のあらゆる人、社会、周囲の世界の中でその影響を受けながら自分を深く見つめ、あるべき自分の姿を描きながら生きていくのです。わからないこと、できないこと、うまくいかないことを大切にしましょう。「助けて」と援助を求めたり、援助を求められたら

## 2022年度スクールプラン

本校の学校教育目標は、「人権尊重の精神を全教育活動の基盤とした心豊かな人間性と確かな学力、たくましく生きる力を持った生徒の育成」としています。

「一緒に考えよう」と応えたり、互いに聴き合う関係の中で、自分への執着を周りの人への関心に切り替えます。そうすることで周りの人を仲間と感じることができます。人それぞれの様々な見方や感じ方を受け止め、人が抱える困難や痛みを想像し共感する等、共生の視点を持つことができる共同体感覚を身に付けましょう。そして、主体的に自分の人生をよりよく歩もうとする自立した生徒をめざすのです。

「自立し、共同体感覚を持った生徒」となることをめざすにあたり、次のことを日々の生活・学習等で繰り返します。

- ・変化や課題に積極的に向き合う
- ・他者とともに課題を解決したり問題を乗り越えようとする中で、適切な関係を築く
- ・様々な情報を収集し見極め、得た情報・知識を使って情報を再構築する

本校の学び合いの授業づくり「TOWA7」は、めざす生徒像を実現する営みです。ただ単に勉強するだけではなく、仲間とともに学び、人生を生き抜く力を身につけます。生徒のみなさんは、考えて考えて考え抜きます。先生たちは、全力で支援します。保護者・地域のみなさまには、このスクールプランにご理解ご協力くださいますようお願いいたします。

令和4年度 和歌山市立東和中学校 運営計画書（スクールプラン）  
校長 清水 歩 作成日 令和4年4月1日

